

◆◆◆ 新電文形式データ配信システムへの移行が完了しました

当センターは、平成 21 年度末から電文形式データ配信システムの更新整備を進めてきましたが、7 月 16 日までに全ての利用者の回線を新システムへ切り替え、移行が完了しました。新電文形式データ配信システムは、最新技術の高性能サーバーの採用、メモリーの増強等によるシステムパフォーマンスの向上、また、防災気象情報の XML 化対応ソフトウェアの搭載等により、新しい情報や利用者の増加等に柔軟に対応可能なシステムとなりました。

平成 17 年 4 月 1 日に運用を開始したこれまでの電文形式データ配信システムは、5 年余の間、気象庁からの大量の情報を利用者の皆様へ送り続けてまいりましたが、7 月末には電源をおとし、9 月末からは緊急地震速報の接続試験システムとして、新たに生まれ変わり次の使命を担うこととなりました。



新電文形式データ配信システム

(財団法人気象業務支援センター配信事業部長 加藤芳夫)